

# 株式会社かさはな

もともと、うちは傘の製造を営んでいて、ある時、お仕事を依頼していた職人の方が病気で左手が不自由になられたんです。奥様が「ハビリ」のために何がいいか考えた時に、慣れ親しんでいる傘作りをしようと思われたそうです。そのために、奥様の着物を切って傘の生地を用意。その姿をお見かけした時に感銘を受けるとともに、できあがった傘のすばらしさに感動したことが、この事業を始めたきっかけです。

着物にはそれぞれの方の思い出がつまっています。でも、着る機会がなく、タンスにしまったままだと、処分するしかありません。それが傘という新しい形になって大切な着物を残すことができるんです。でも、着物傘を始めた頃には、「着物にハサミを入れるなんて」と言われたこともありました。ですが、今では着物を違う形で残すことができるとお客様から感謝されます。

処分するより残すために  
着物に新しい息吹を吹き込む

代表取締役  
時田さゆりさん



100万円以上もする高価な着物を傘に、という依頼。  
着物の縫いをほどいていいのかわ、何度も聞き返しました。  
「着ない着物をそのまま置いておくほうがよいか」といって、お言葉。  
そして、「着物が生き返るほうがいい」と。  
着物傘は、お客様を喜ばせるのだけが痛感でした。

着物傘は職人による手作り。  
柄合わせにも時間がかかり、経うのむむずかしい。  
1つひとつの工程に手間がかかるので、今は約6ヶ月待ち!

## 昔ながらの技術と職人魂を持った職人が 美しい着物を、 美しい傘に生まれ変わらせる

社名の「かさな」とは、かさ(傘)にはな(花)を  
咲かせよう、という意味。その名のとおり、かさはな  
が作り出す傘は、持つだけで明るい気持ちになれる  
と話題を集めている。

同社が注目されている理由は、着る機会がなくなっ  
た着物や浴衣、羽織などを使った着物傘を生み出したこと。生活スタイルの変化とともに着物を着る機  
会が減ったが、高価な着物を捨てることができない。  
また、故人が着用し思い出のある着物を、処分せず  
に残したい。というような様々な思いが交錯する中、  
着物の新たな使い道として傘の生地のリメイクする  
という同社のサービスが多くの方に支持されている。

着物を傘に作りかえるにあたって、こだわってい  
ること。それは、何より着物の美しい柄や織りが傘  
になっても映えるよう、生地を取り方を工夫してい  
る。つまり、単純に傘の形に生地を抜くのではなく、  
熟練の職人が着物の柄をチェックし、柄がもっとも  
美しく見えるレイアウトを考えぬいた上で作り上げ  
るわけだ。

着物地が雨で濡れることへの心配もあるが、着物  
傘にはすべて撥水加工をほどこしている。撥水加工  
をすることで、水分が生地に染み込むのを防ぐだけ  
でなく、汚れが付きにくくなる利点もある。さらに、  
傘の骨や持ち手、留めボタンなどパーツは、好みの  
ものや生地の色柄に合わせて選びカスタマイズ。ま  
さに、世界にひとつしかない自分だけの傘ができあ  
がる。

捨てるか売るか、処分するしかなかった着物を、  
思い出とともに残せる着物傘。社会が抱える課題の  
解決につながる、まさに社会貢献としてのビジネス  
だと言える。

### 株式会社かさな

<http://www.kasahana.com>  
〒544-0001 大阪市生野区新今里7-17-2  
TEL 06-4981-5725 FAX 06-4980-6464  
事業内容 / オリジナル傘、名入れ傘、アート傘、着  
物傘、日傘など傘の製造販売

アート作家の方に傘に自由に絵を描いてもらい、  
画廊に展示。それが評判よく、アート傘が生まれた。

着物の反物はシルク100%で、  
調べてみると絹は  
それ自体のUV効果が高く  
ほとんど紫外線を通さない。

着物のリメイクは傘だけでなくバッグや長財布にもできる。  
着物でできたバッグは  
すべて撥水加工を行ってくれるので水濡れや  
汚れを気にせず長く使える。

手作り作家さんとコラボした  
バッグと長財布は  
特に人気があり  
注文が集中したため  
現在受け付けを  
一時中断させている。

約10年前に傘の業界にも百円均一が流入し、  
傘が使い捨てになってしまった。  
だからといって、傘屋が安い傘をつくりはじめたらあかん。  
値段ではなく、傘の価値を理解してもらいたい。

我が社の  
自慢

京阪神はもとより  
関東エリアの百貨店  
催事に呼ばれる

着物傘は、百貨店での催事が自社のwebサイトで販売。  
お客様の評判がよく、関西の有名百貨店から次々と声がか  
かる。その評判を聞きつけ、関東の百貨店からも催事への  
出店に依頼がくるほど!

アート傘は、受注生産。  
現在、契約しているアート作家は  
約30名。

